

国立大学法人岡山大学共育共創コモンズ（概要）

【事業概要】

- 岡山大学は令和3年4月に、工学部と環境理工学部を再編・統合した新工学部をスタートし、新たに建築教育プログラムを設置しました。これを記念し、300人収容の大講義室と研究スペースを有する木造2階建ての「岡山大学共育共創コモンズ」を、大学だけでなく地域や企業の皆さまとともに学びあい交流できる「みんなのイノベーション空間」として計画し、隈氏の監修により建築しました。
- 2階には、セミナーやシンポジウム等様々なイベントにも活用可能で300人収容可能な大規模講義室を整備し、新工学部の新たな学び舎として、また木造建築教育の教材として活用します。
- 1階には、オープンな共同プロジェクトから機密性の高い共同研究まで、フレキシブルに対応できる産学共創スペースを整備しました。海外からの招聘教授をはじめ企業と学生・教職員が集う空間を創出し、共同研究などを促進します。
- この建物は、木造CLTパネルを活用した最先端の工法を視覚的にも体感できる原寸大の建築教育の教材です。木造CLTパネルの製造量が日本一の岡山県における木質建築・森林保全活用の教育研究拠点としての役割も担います。持続可能な社会へSDGsを推進する岡山地域のシンボリックな建物となることを期待しています。

【建物概要】

建物名称 : 共育共創コモンズ 英語名称 : Okayama Visionary Commons
建設地 : 岡山県岡山市北区津島中3丁目1-1
発注方式 : 設計施工一括方式（令和3年4月公募開始、6月に選定、8月に契約）
工期 : 2022年3月～2023年1月20日（11ヶ月）
発注者 : 国立大学法人岡山大学
監修 : 隈研吾氏（岡山大学特別招聘教授）
設計・施工 : 清水建設株式会社
構造・階数 : 木造（CLTパネル工法） 地上2階建て
面積 : 延床面積 約 825㎡ 建築面積 約 646㎡
木材使用量 : 約 510m³（うち、CLT 約 450m³）
令和5年2月運用開始
学内予算の他、寄附及び国土交通省令和3年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）補助金により整備



南西側外観



■ 共育共創コモンズの特徴

木現しによる、木のぬくもりに包まれる空間を保持するスギ板外装と耐候性塗装

天井高5mの講義室と大地震時の安全性を確保した縦長窓

CLT表しの居室の音環境を確保する吸音天井



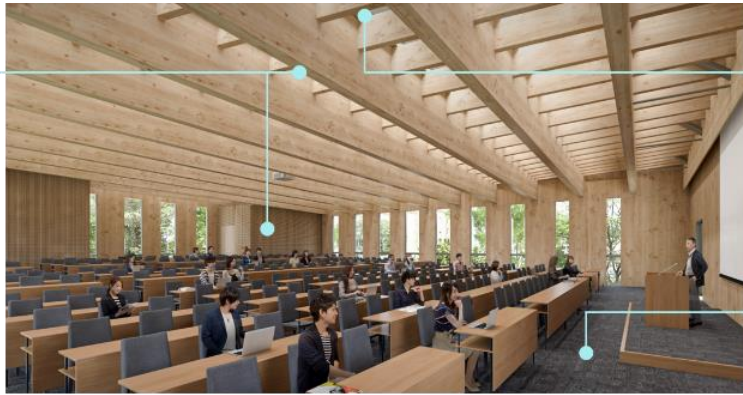
18mスパンの大梁をCLTで実現
(現場でジョイントして21.9mの長さを実現)

平版ガラスのレベルをジョイント部で調整した3次曲面形状のガラス庇

1・2階で壁位置を変えて、特徴のあるファサードを創出

CLTパネル工法の可能性を高める施設計画

快適な音環境を実現する吸音壁・吸音天井



CLT梁を際立たせる照明計画

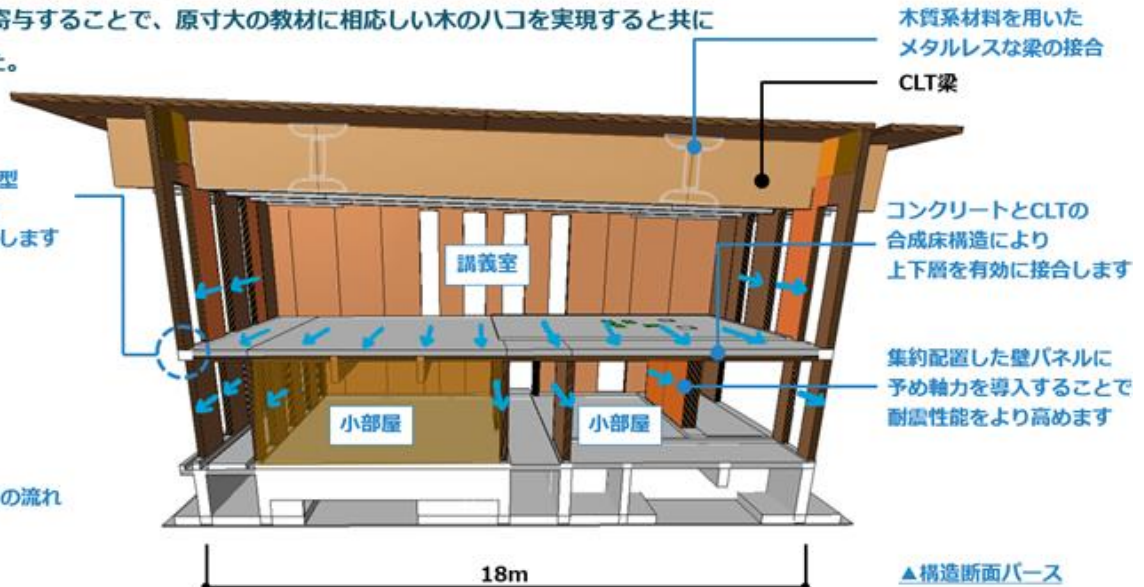
快適性を高める床吹出空調

CLTパネルを魅せる内観・設備計画

共育共創コモンズの建設を通じて、CLTパネル工法のデザイン自由度を高め、工法の普及・促進に寄与することで、原寸大の教材に相応しい木の八口を実現すると共にSDGsに貢献しました。

合成床の周囲を鉄筋コンクリート造の梁型で囲い、壁位置のずれた西面の架構を確実に接合します

↑ 印：地震の際に部材に発生する力の流れを示します



説明図提供：清水建設株式会社